



三匹の猫米活動について

より皆様にご理解いただきたい為の投稿です

- ・ 今までの活動報告
- ・ ご質問、ご意見について



寄付のご報告



●2022.1.23

HAPPY-WILDCATS様に

62,483円を寄付させて頂きました

●2022.9.22

しっぽのしらべ様に

61,944円を寄付させて頂きました

●2023.2.13 (セキ薬品様と共同にて)

WARAINAなごの家様に

75,600円を寄付させて頂きました

ご質問、ご意見について

どうして誠農社で猫を預からないの？

例え1匹だとしても猫や犬を家族に迎えることは「命」を預かるということで半端な気持ちではできないですね。それと同じように、誠農社は農家であり動物を預かる施設は何も整っていない状況です。そのような状況で無責任に命を預かることは出来ないのです。それでも生きる場所を探している動物のために「農家としてできること」で力になればという想いで始めた活動です。



全ての活動において言えることだと思えますが、その活動に対する携わり方には様々な形があって良いのだと思っております。

保護できる場所を設けてたくさんの犬や猫を預かることが最善だとしても、それができる環境ばかりではないということを皆様にはご理解いただき、これからも「私たちにできる形」で動物保護活動に心を寄せていきたいと思えます。

ご質問、ご意見について

寄付をする分、料金が高いのでは？

こちらのご質問につきましては、誠農社が販売している「三匹の猫米」の価格を、スーパーやネット等で販売しているお米と比較していただくのが一番わかりやすいと思います。誠農社のお米よりも高いものもあれば安いものもあります。

商品を購入するときの高い、安いという感覚は人それぞれの価値観によるもので、商品の背景を知ると同時に、商品を手にとってくださるお客様の背景によってもその価値観は変わってくるのではないのでしょうか。



商品に心が傾けばご購入されるでしょうし、興味がなければ例え安くても購入に至ることはないかもしれません。「三匹の猫米活動」は皆様に強制するものでもなんでもありません。この活動に賛同してくださる方にご購入頂ければ、それだけで私たちは十分にうれしく思っております。

ご質問、ご意見について

結局、お米を売るためでしょ？

皆様にご理解いただきたいのは、企業として売り上げがなければ残念ながら社会貢献活動はできないということです。誠農社も農家という生業柄、このご時世、非常に厳しい現状ではありますが、それでも誠農社が栽培するお米を皆様ご購入くださるからこそ、このような動物保護活動に携わることができています。世界的にも様々な企業が売り上げの一部で、環境や動物、そして地域のための貢献活動に携わっていることは広く知られていることではないでしょうか。

私たちは例えゆっくりでも少しずつでも、未永く続けていける活動を目指しています。だからこそ私たちが「食べる」という必然的行為で無理なく寄付ができる仕組みを提案しています。皆様の優しさで成り立っている活動であることをこれからもしっかりと受け止めてまいりたいと思っています。

